

伐採に係る森林の状況報告書

山口市長 殿

住 所 山口市●●●●

報告者 氏名 ●●木材
代表取締役 ●●●●

年 月 日に提出した伐採及び伐採後の造林の届出書に係る森林につき次のとおり伐採を実施したので、森林法第10条の8第2項の規定により報告します。

1 森林の所在場所

山口	市	●●	町	大字	▲▲	字	■1-1、1-2	地番
	郡		村					

2 伐採の実施状況

伐 採 面 積	0.8ha(うち人工林 0.8 ha、天然林 ha)		
伐 採 方 法	皆伐・択伐	伐採率	100%
森林所有者（造林する者）の伐採跡地の確認の有無	有 無		
作 業 委 託 先	-		
伐 採 樹 種	スギ		
伐 採 齢	60		
伐 採 の 期 間	令和●●年●●月●●日～令和▲▲年▲▲月▲▲日		
集 材 方 法	集材路 架線・その他（ ）		
集材路の幅員・延長	幅員 3 m ・ 延長 500 m		

3 備考

伐採後に太陽光発電施設を設置予定（転用予定時期：令和●●年●●月）

注意事項

- 報告に係る森林の所在する市町村ごとに提出すること。
- 森林の所在場所ごとに記載すること。
- 面積は、小数第2位まで記載し、第3位を四捨五入すること。
- 伐採率欄には、立木材積による伐採率を記載すること。
- 樹種は、すぎ、ひのき、まつ（あかまつ及びくろまつをいう。）、からまつ、えぞまつ、とどまつ、その他の針葉樹、ぶな、くぬぎ及びその他の広葉樹の別に区分して記載すること。
- 伐採齢欄には、伐採した森林が異齢林の場合においては、伐採した立木のうち最も多いものの年齢を記載し、最も年齢の低いものの年齢と最も年齢の高いものの年齢とを「（〇～〇）」のように記載すること。

コメントの追加 [01]:

「伐採の期間」の末日から30日以内に報告してください。

コメントの追加 [02]:

複数地番にまたがる場合は、該当するすべての地番を記載してください。

コメントの追加 [03]:

すべての地番の合計面積を記入してください。

コメントの追加 [04]:

伐採後の用途が森林以外の場合は、その用途と時期を記載してください。

記載例1
人工造林の場合

伐採後の造林に係る森林の状況報告書

年 月 日

山口市長 殿

住 所 山口市亀山町2-1

報告者 氏名 山口 太郎

年 月 日に提出した伐採及び伐採後の造林の届出書に係る森林につき次のとおり伐採後の造林を実施したので、森林法第10条の8第2項の規定により報告します。

1 森林の所在場所

山口	市	町	大字	字	地番
郡	●●	村	▲▲	■1-1、1-2	

2 伐採後の造林の実施状況

	造林の方法	造林の期間	造林樹種	樹種別の造林面積	樹種別の造林本数	作業委託先	鳥獣害対策
人工造林	植栽	R〇.〇.〇～ R△.△.△	スギ	1.00ha	2500本	●●森林組合	
天然更新				ha	本		

3 備考

令和〇年〇月〇日に山口花子から相続（共有者：山口次郎ほか2名）

注意事項

- 報告に係る森林の所在する市町村ごとに提出すること。
- 森林の所在場所ごとに記載すること。
- 造林の方法欄には、人工造林による場合には植栽又は人工播種の別を、天然更新による場合にはぼう芽更新又は天然下種更新の別を記載すること。
- 樹種は、すぎ、ひのき、まつ（あかまつ及びびくろまつをいう。）、からまつ、えぞまつ、とどまつ、その他の針葉樹、ぶな、くぬぎ及びその他の広葉樹の別に区分して記載すること。
- 面積は、小数第2位まで記載し、第3位を四捨五入すること。
- 人工造林による場合において、複数の樹種を造林したときは、造林樹種、樹種別の造林面積及び樹種別の造林本数欄には、造林した樹種ごとに複数の行に分けて記載すること。
- 天然更新による場合においては、造林樹種欄には代表的な樹種を、樹種別の造林面積欄には天然更新に係る区域全体の面積を記載すること。また、更新調査の結果又は造林地の写真その他の更新状況を明らかにする資料を添付する場合には、樹種別の造林本数欄には、「別添のとおり」と記載することができる。
- 鳥獣害対策欄には、防護柵の設置、幼齢木保護具の設置などの方法を記載すること。

コメントの追加 [05]:

伐った年度の翌年度から2年以内で、実際に造林された期間を記入してください。

コメントの追加 [06]:

届出書記載数値を下回っていないか確認してください。

コメントの追加 [07]:

相続等により造林の届出書の届出者と異なる森林所有者が報告書を提出する場合は、当該相続等に係る情報を記載してください。

記載例 2
天然更新の場合

伐採後の造林に係る森林の状況報告書

年 月 日

山口市長 殿

住 所 山口市亀山町 2-1

報告者 氏名 山口 太郎

年 月 日に提出した伐採及び伐採後の造林の届出書に係る森林につき次のとおり伐採後の造林を実施したので、森林法第 10 条の 8 第 2 項の規定により報告します。

1 森林の所在場所

山口	市	町	大字	字	地番
	●●		▲▲	■1-1、1-2	
郡		村			

2 伐採後の造林の実施状況

	造林の方法	造林の期間	造林樹種	樹種別の造林面積	樹種別の造林本数	作業委託先	鳥獣害対策
人工造林							
天然更新	天然更新	R〇.〇.〇～ R△.△.△	クヌギ	0.8ha	別紙の通り		

3 備考

令和〇年〇月〇日に山口花子から相続（共有者：山口次郎ほか 2 名）

注意事項

- 報告に係る森林の所在する市町村ごとに提出すること。
- 森林の所在場所ごとに記載すること。
- 造林の方法欄には、人工造林による場合には植栽又は人工播種の別を、天然更新による場合にはぼう芽更新又は天然下種更新の別を記載すること。
- 樹種は、すぎ、ひのき、まつ（あかまつ及びくろまつをいう。）、からまつ、えぞまつ、とどまつ、その他の針葉樹、ぶな、くぬぎ及びその他の広葉樹の別に区分して記載すること。
- 面積は、小数第 2 位まで記載し、第 3 位を四捨五入すること。
- 人工造林による場合において、複数の樹種を造林したときは、造林樹種、樹種別の造林面積及び樹種別の造林本数欄には、造林した樹種ごとに複数の行に分けて記載すること。
- 天然更新による場合においては、造林樹種欄には代表的な樹種を、樹種別の造林面積欄には天然更新に係る区域全体の面積を記載すること。また、更新調査の結果又は造林地の写真その他の更新状況を明らかにする資料を添付する場合には、樹種別の造林本数欄には、「別添のとおり」と記載することができる。
- 鳥獣害対策欄には、防護柵の設置、幼齢木保護具の設置などの方法を記載すること。

コメントの追加 [08]:

伐った年度の翌年度から 5 年以内で、実際に天然更新の完了を確認した日までが期間となります。

コメントの追加 [09]:

次ページの「別紙」による報告も可能です。

コメントの追加 [010]:

相続等により造林の届出書の届出者と異なる森林所有者が報告書を提出する場合は、当該相続等に係る情報を記載してください。

「別添のとおり」の記載例

記載例1 造林地の写真

[撮影日：令和○年○月○日]

造林地全体の遠景写真
(数枚)

更新樹種の生育状況（高さや成立
本数）が分かる近景（代表的な更
新樹種が分かる接近写真を含む）

記載例2 更新状況チェックリスト

[確認日：令和○年○月○日]

- ☐ 更新樹種の稚樹の樹高が周囲の競合植物の樹高を十分上回っている。
- ☐ 更新樹種の稚樹の本数が半径○m の円内に○本以上生育している。
- ☐ 伐採跡地が全体的に更新されている。